

○詳細は産業化ロードマップ T F で議論することとなるが、大まかに以下の論点が考えられる。

1. スタンス

- ・技術→出口の視点
- ・出口→必要な技術の視点
- ・双方向

2. 作成後の出口

- ・（国のor 3 機関の）研究目標・重点化への反映
- ・製品・サービスの社会実装の実現・促進のために必要な環境整備（規制改革・制度整備）項目の洗い出し、規制改革会議などへの働きかけ・フォローアップ

3. 検討対象とする出口分野

どういう出口分野について重点的に議論するか

- ・日本が強みを有する出口分野（マニファクチャリング、モビリティ、材料科学 等）
- ・AIの効果が大きい出口分野（医療・健康、介護、インフラ、労働集約的な分野（小売、物流等） 等）

産業化のロードマップイメージ（全体版の例）

出口分野	現在	2018年	2020年	2025年頃	2030年以降
〇〇	現状 ...	絵姿（製品・サービス） ...	絵姿（製品・サービス） ...	絵姿（製品・サービス） ...	絵姿（製品・サービス） ...
	必要な施策（技術、制度）		必要な施策（技術、制度）		
	必要な施策（技術、制度）			必要な施策（技術、制度）	
〇〇	現状 ...	絵姿（製品・サービス） ...	絵姿（製品・サービス） ...	絵姿（製品・サービス） ...	絵姿（製品・サービス） ...
	必要な施策（技術、制度）		必要な施策（技術、制度）		
	必要な施策（技術、制度）			必要な施策（技術、制度）	
〇〇	現状 ...	絵姿（製品・サービス） ...	絵姿（製品・サービス） ...	絵姿（製品・サービス） ...	絵姿（製品・サービス） ...
	必要な施策（技術、制度）		必要な施策（技術、制度）		
	必要な施策（技術、制度）			必要な施策（技術、制度）	